

語り継ぐココロとコトバ
大古事記展
五感で味わう、愛と創造の物語

中高生・大人用
ワークシート

教科書でしか『古事記』を知らない?

おおのやすまる
太安万侶さん・本居宣長さん・稗田阿礼さんが『古事記』の世界へみなさんをご案内します。
一緒に展示をまわって、パーカーフェクト賞を目指しましょう!

START

I. 古代の人々が紡いだ物語

私は『古事記』をまとめた太安万侶です。『古事記』は多くの神話やさまざまな出来事が書かれた本んですよ。たくさんの神様や人間たちが出てきて、いろんなところへ冒險したり、なかよくなったり、けんかをしたり…思わずがんばれ!っていいたくなるお話がいっぱいあるんですよ。展示をじっくりみながら、質問の答えを探してください。



1 天から馬に乗ってくだるニニギノミコトを描いた「天孫降臨 I」。ミコトの前にいる家来の「楯」の模様を写してみよう。

※この楯のモデルは九州南部に住んでいた人々が用いたとされる「隼人の楯」。IIIの部屋に展示しています。

2 「童女の姿となりて」では、ヤマトタケルノミコトは敵の熊曾建を欺くために女装しているよ。童女(女の子)になりきるために、ミコトが手にしているものは何だろう。

※奈良県新山古墳からの出土品はこの絵のモデルかもしれません。展示されているので見比べてみましょう。

この順番で部屋をまわろう!

IV. 身近に今も息づく古事記

またお会いしましたね。太安万侶です。
ここまで見てきて『古事記』がだんだん遠い昔の本だと思えなくなってきたことでしょう。
それは実は私だけの力ではなくて、神社や地域の人たちが、『古事記』の物語を今も大切にしておられるからなんです。この部屋では、遠い昔の『古事記』の世界が、今も生きていることをお見せしましょう。

GOAL

太安万侶(おおのやすまる)

7 この宝物は何に使う目的で作られたのだろう。パネルの絵画「春日権現鏡記絵(春日本)」から推理してみよう。

※これは春日大社の本宮に奉納された御神宝(国宝)で、鎌倉時代に作られました。

8 能面や神楽面が展示されているよ。あなたはどの面がお気に入りかな。その理由も書いてみよう。

<理由>

※芸能の映像もあるので、ぜひ鑑賞してください。

II. 古事記の1300年



私は本居宣長です。江戸時代の学者です。いろいろな書物を研究しましたが、なかでも『古事記』の研究はとても大変で35年間もかかってしまったんですよ。
なんといっても千年以上も前に書かれたものでしたからね。それにしても生まれて1300年もたつのに展覧会が開かれるほど愛されているなんて。『古事記』ってやっぱりすごい本だと思いますか?

本居宣長(もとおりのりなが)

3 太安万侶は現在のJR奈良駅の西側に住んでいたよ。
太安万侶の生きた時代、このあたりは「□京四條四坊」といったけれど、□に入る文字は何かな。太安万侶墓誌に最初に書かれた文字をさがしてみよう。

※墓誌は、1979年、茶畠開墾中に発見された太安万侶墓(奈良市此瀬町)から出土しました。

4 生き物を踏みつけて、隠岐島から海を渡った「いなばのしろうさぎ」。
さて、本(『THE HARE OF INABA』)の表紙に描かれたその生き物は何かな。

※生き物は『古事記』では「和邇」と記されていて、諸説があります。なお、HAREは「野ウサギ」のことです。

はじめまして。稗田阿礼といいます。

記憶力抜群で、太安万侶さんは、私が覚えていたことをもとに『古事記』をまとめたのですよ。さて、『古事記』にはいろいろな道具や武器などのアイテムがでできます。
さあ、この部屋では、私の自慢の記憶力で、アイテムについてお教えしましょう。



稗田阿礼(ひえたのあれ)

5 パネル写真は武者塚古墳(茨城県)から出土した「美豆良」を結った男性の髪。この部屋では他にも「美豆良」の髪型が見られるよ。どこにあるのだろう。

※パネル写真的実物は重要文化財に指定されました。

6 室大墓古墳(奈良県)から出土した大型家形埴輪。柱に不思議な模様があるので、スケッチしてみよう。

※模様は直彌文という古墳時代の文様です。なお、屋根の上にのっている部材が「鰐木」で、『古事記』ではこれのあらが雄略天皇の怒りの原因となる話が書かれています。